

スカウト兵庫



2018
No.6
4月

特集
“15WSM,13WSYF,41WSC レポート”
“BSA 極東連盟・カブスカウトデイキャンプ”

兵庫連盟活動振興大会
“但馬、淡路 地区”
元気な団紹介
“西宮第10団、伊丹第3団、尼崎第25団”
兵庫県青少年本部 ひょうごっ子 ふるさと塾
“伊丹第11団”

イベント情報
第17回日本スカウトジャンボリー(石川県珠洲市)
第24回世界スカウトジャンボリー(米国ウエストバージニア州)



国際交流



★★ BSAカブスカウトデイキャンプに参加して ★★

昨年 12 月 29 日(金)、30 日(土)の両日、BSA 極東連盟アジア中央地区主催のカブスカウトデイキャンプがカテナ・エレメンタリー・スクール(アメリカ空軍嘉手納基地内)において開催され、私は、当団のビーバースカウト1名・カブスカウト1名・指導者1名・保護者1名と共に参加しました。

このキャンプのテーマは STEM(Science 科学、Technology 技術、Engineering 工学、Math 数学)で、実験、活動、スポーツを焦点にプログラム展開されていました。100 名近いアメリカのスカウトの中で当団のスカウト二人がどのように行動するか注目しながら見ていましたが、アメリカのカブスカウト達の心配りもあって、アーチェリーや化学実験、自然観察ハイキングなど、グループの一員となって楽しんでいました。あとで聞くと「言葉はわからなかったけど、みんながすることをよく見て真似てみたら、全部できて楽しかった」と話してくれました。私たち指導者にとっても、テーマがしっかりしたプログラムや子ども達への指導のしかたなど、参考になるところが多くあり、大変貴重な経験となりました。

これを機に、スカウト達には国際交流にもっと興味を持ってもらえたら、と期待しています。

(姫路第6団 団委員長 苦瓜一夫)



第15回世界スカウトムート 第13回世界スカウトユースフォーラム 第41回世界スカウト会議 に参加して

こんにちは。この夏にアイスランドで開催された第15回世界スカウトムート、アゼルバイジャンで開催された第13回世界スカウトユースフォーラムと第41回世界スカウト会議に参加してまいりました。

さて、まずは第15回世界スカウトムートについてお話ししましょう。皆さんボーイスカウトやベンチャースカウトにはジャンボリーという最大のキャンプ大会がありますが、我々ローバースカウトは指導者やスタッフとしてしか参加できません。勿論それも楽しいのですが、やはりスカウトとしてキャンプがしたい！アクティビティを楽しみたい！という声に応えて作られたのがムートです。言ってみればローバー版ジャンボリーですね。僕たちは日本派遣隊として参加しますが、現地で日本派遣隊として行動したのはインターナショナルデイという自国の紹介をブースに出して行い合う日だけでした。そこ以外は常にインターナショナルチームとって海外のスカウトたちと班、隊を編成し共同生活します。ムートは日程前半と後半に分かれ、前半はアイスランド各地に設置されたサブキャンプに隊ごとに分かれて生活し、後半はアイスランド連盟が所有しているキャンプ場に全体が集まって生活します。基本的には同じ班に同じ国の人間はいないのですが、僕の場合、サブキャンプに日本人が僕だけだったのでかなり緊張はしていました。しかし何とかなるものですね。設営の時点でチームメンバーと打ち解け、一緒にアイスランドの自然を満喫したり、実銃で射撃をしたり、岩山に登ったりしました。



さて約10日間アイスランドでムートを楽しんだ後、オランダで3日ほど休養し、アゼルバイジャンに向かいました。アゼルバイジャンの首都バクーから車で約4時間、ガバラという山に囲まれた町でユースフォーラムが開かれていました。ユースフォーラムとは世界スカウト会議の青年版であり、現行の規則やこの後開かれる世界会議で議論される内容を青年の立場から議論する場です。ここでもインターナショナルチームに分かれて様々な議題、例えば「あなたにとってリーダーシップとは？」とか「成人指導者はスカウト活動においてどうあるべきか」といったようなことについて議論しました。正直言うと私の英語とスカウト知識のレベルはまだ未熟そのもので、議論で主体的になれたかといえば怪しいのですが、このような経験をこの年で出来ただけでも私にとってあまりに大きな収穫でした。

さてバクーに移動して世界会議ですが、ここはもっと大人が主体の会議です。ユースにはわからない、経験を持った大人たちの世界中からの意見が聞けてとても興味深いものでした。会議で決まったことは、マカオ連盟が世界連盟のメンバーとして承認されたこと、次回のユースフォーラムと世界会議がエジプトで開催される事、そして次々回の世界ジャンボリーが韓国で開催される事です。こうしてなんだか夢のように感じた一か月は過ぎていきました。これを書いているとき、帰国してもう半年になるのですが、なんだか自分が本当にあの3つのイベントを制覇してきたのかわからなくなるときがあり、写真を見てああ、本当に行って来たのだと実感します。それほど私にとっては非日常かつ刺激的で類まれなる経験だったのでしょ。

日本ボーイスカウト姫路第16団RS 神生 柚貴

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

第17回日本ジャンボリー

見学者向け情報が公開されています。

<https://www.scout.or.jp/17nsj/dayvisitor/index.html>

チケット(事前申し込み)の購入・申し込みサイト

<https://17nsj-dayvisitor.peatix.com>

事前申込(Peatix Inc.)へお進みください。

ジャンボリー情報は、スマートフォンアプリで！！

<https://www.scout.or.jp/17nsj/app.html>

プログラム:大会期間中の全体行事や各プログラムなどの情報を提供します。

スケジュール:Ver1.1.0 にてスケジュール機能がさらに見やすく使いやすくなりました。さらに見学者に関する日程や配給時間なども公開しました。

ムービー:これまでに公開された動画や、大会期間中のライブ配信(予定)をまとめて見ることができます。

ニュース&インフォメーション:17NSJ 広報部取材班によるフラッシュニュースや大会本部からのお知らせ等を配信します。

17th
NIPPON SCOUT
JAMBOREE
App for iOS, Android



24WSJ 日本派遣団
UNLOCK a NEW WORLD

第24回世界スカウトジャンボリー日本派遣団ホームページをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/24wsj/index.html>

第24回世界スカウトジャンボリー情報は、このサイトから情報を得ることができます。公式サイトへのリンクもあります。

<https://www.2019wsj.org/>

第24回世界スカウトジャンボリー概要

会期

2019年7月22日~8月2日

2019年7月21日(日)~8月5日(月)16日間(参加隊)

2019年7月19日(金)~8月6日(木)19日間(IST)

*航空便の事情により数日前後することがあります。

場所

The Summit Bechtel Reserve

アメリカ合衆国・ウエストバージニア州

テーマ

UNLOCK A NEW WORLD



ホスト国

カナダ連盟

メキシコ連盟

アメリカ連盟

北アメリカの3連盟が共同し開催する。

大会規模

世界169の国と地域より

約35,000人

日本派遣団

1,000人を予定

大会参加スカウト(ボーイスカウトおよびベンチャースカウト)

- ① 2001年(平成13年)7月22日~2005年(平成17年)7月21日までに生まれた者
- ② 2017年度(平成29年度)から継続して登録している者
- ③ 原則として応募時点において、1級章以上を取得している者



兵庫連盟活動振興大会



但馬地区

但馬地区活動振興大会

6月11日(日) 養父市広谷ふれあいセンター

「ふれあおう 但馬のなかま」をテーマに平成29年6月11日(日)、養父市広谷ふれあいセンターで平成29年度但馬地区活動振興大会(たじまふれあいフェスタ2017)を開催しました。但馬地区のスカウト・指導者など約150人が参加しました。

午前中は式典を挙行し、優秀スカウト表彰や各団のエール交換などがありました。



午後からはウォークラリーをしました。コース図を手に各組・班に分かれて相談しながらチェックポイントを目指しました。ポイント地点に設置してある課題を解きながら、全員無事にゴールしました。

最後は、全員で輪になりゲームを楽しむなど、但馬の団の枠を超えスカウト相互の友情を深めた一日でした。

淡路地区

淡路地区活動振興大会

11月19日(日) 洲本市立洲本第二小学校 ~ 三熊山

淡路地区は、県下に10地区あるうち、最南端に位置するわずか3ヶ団の最小地区です。今年度の地区振興大会は、11月19日(日)に洲本市の三熊山で「洲本市民ウォーク」と共催で開催しました。三熊山は、標高133mしかありませんが、瀬戸内海国立公園に属し、古木が生い茂る自然豊かな山、山頂には国の史跡に指定された洲本城跡があります。

スカウトは一般参加者と一緒に登山をした後、山頂で式典を行いました。



【史跡 洲本城】



【巨木の横を登山】



【みんなでゲーム】



元気な団紹介



西宮第10団

私たちは西宮神社（えびす神社）の界隈を中心に、北は甲山から南は西宮ヨットハーバーまで、広い育成区域で活動をしています。イギリスからボーイスカウト運動が紹介されて数年後の1924年（大正13年）に「西宮義勇少年団」として発足し、1959年に西宮第10団となり、戦時中などは山あり谷ありではありましたが、90年を超えて活動を続けてきました。現在、スカウト数ビーバー隊10名、カブ隊5組31名、ボーイ隊2班13名、ベンチャー隊13名、ローバー隊10名で、団まつり、スキー舎営、六甲縦走、7泊長期野営、地域の夏まつり、清掃活動など、海から山まで恵まれた地域の自然特性を活かし活動を行っています。



上進式
in 西宮神社



BS 誓いの式
in 船坂野営場



清掃活動 夙川公園

VS 黒部川源流への旅



CS 野外料理 in
甲山自然の家キャンプ場

「スカウトの基本がしっかり実践出来ており、楽しく活動できていれば、スカウト数は自然に増加する」と信じて活動してきたところ、現在はスカウト数が上向き調子で増加しています。あとは、それを長期間にわたり維持するために、より多くの成人に参加と理解を深めてもらい、自発的な活動を継続しているところです。

BP 祭 集合写真



スキー 集合写真
神鍋高原 万場スキー場

今後は、2024年の創立100年に向けて心身共に健全な少年・少女の育成に努め、地域社会や国際社会に役立つ人材を輩出し続けたいと思っています。



伊丹第3団

我が日本ボーイスカウト伊丹第3団は、1965年に南小学校の一隅をお借りして産声を上げた後、今は先人達のためまぬ努力によって築き上げられた歴史と伝統を大切にしながら精進しているところです。

阪神北地区 伊丹第3団は、1971年より40年の長きにわたり梅ノ木3丁目に拠を構えてきましたが、2009年9月よりスカウトハウスを鈴原9丁目に新築し、新生ボーイスカウト伊丹3団として活動を行い2015年には創立50周年を迎え、団キャンプ・50周年記念式典と50周年記念誌「みちのり」を発行し行事を終え、さらなる発展に向け団委員、リーダー、スカウト一同頑張っているところです。

現在、H29年10月登録人数はビーバー隊21名、カブ隊36名、ボーイ隊29名、ベンチャー隊8名、ローバー隊20名、リーダー31名、団委員9名、合計155名の登録を有するに至りました。

各隊日々活動を続けており団の活動状況については伊丹3団のHPがありますのでこちらのアドレスへ； <http://bsitami3.webcrow.jp/> これもひとえに指導者の熱い思い、保護者の皆様の惜しまぬご協力、元気あふれる隊員たちが一つになれたこと、そして地域の皆様のご理解の賜物と感謝しております。

これからも地に足を着けて、一步一步進んでいきたいと思っています。それが次代を担う青少年の育成につながれば幸いです。

阪神北地区 伊丹第3団



BVSスキー訓練
(鉢伏大久保ゲレンデ)



CS夏キャンプ
(シャワークライミング)



団スキー舎営様子
(B-P祭後の集合写真)



VSキャンプ活動
(夕食準備様子)



BS夏キャンプ
(ウサギ班の夕食)



尼崎第25団

尼崎地区の皆さんのご理解、ご支援のもと発団 16 年目を迎えることができ、私たちが温かく迎え入れてくれたボーイスカウトに敬意を表し、感謝の念に堪えません。

大自然にふれ、野外を教場に様々な人と接しながら社会性を養い、基本的な生活習慣を身につけ、互いの友情を深めていくボーイスカウト活動は、まさに人間生活の原点であり、たくましく生きる力、生き抜く術を学ぶことのできる貴重な場である。それらは、チャレンジド（心身に何らかの障がいを持つ人）にとっても必要不可欠であります。

私たちも、スカウティングを通して同じユニフォームを着用し「ちかい・おきて」を守り、奉仕活動にも参加する。障がいがあろうがなかろうが何の差異もありません。チャレンジドスカウト一人一人が個々に目標を設定し、それに挑戦し、成長できるのです。しかし、それには困難もあり、少しの配慮と支援を要することもあります。その際には優しくお声掛けをしていただければ嬉しいです。

わが団には発団当初から、社会参加と啓発活動の一環として「ふくろうドラム隊」を結成し、アグーナリーではもちろん、地域のイベントにも参加、楽しい演奏を披露しております。

京阪神間のチャレンジドとその兄弟姉妹の受け入れをしております。わが団はいつでもオープン、いつでも見学できます。

みんなといっしょに「We can！」

尼崎第25団 団委員長 佐藤征一郎



10NA集合



12NA スキルオラマ



2010 共に生きる



12NA 富士山



サイクリング



カントリー作戦



2017 団キャンプ



餅つき

兵庫県青少年本部 助成金事業

ひょうごっ子 **ふるさと塾** **伊丹**

「ふるさと塾」は楽しい!!!

阪神北地区伊丹第11団

公益財団法人兵庫県青少年本部の補助金事業として阪神北地区のボーイスカウト伊丹第 11 団が地域の子ども達と一緒に伊丹を「ふるさと」として感じて貰えるように「ふるさと塾」に取り組みました。

伊丹にも「ざりがに」がいることを知り・ざりがに釣りで遊び・楽しみながら「ふるさと」の良さを感じて貰うことが出来ました。

また、伊丹には山がありませんが川が 4 本流れている平野部の街です。その中の天王寺川と天神川合流地点のリバーサイドで冒険的な遊びを通じて、自然を満喫しながら「ふるさと」の良さを体感してもらいました。



更に、その他 4 つの活動を行いました。その中の一つ「テイクオフ」と謳い、伊丹は飛行場のある街ですので常に飛行機の騒音はありますが、昔に比べると技術の進歩により騒音も少なくなり、飛行機との共生が出来るようになりました。

その様子を子ども達に経験してもらうためにハイキングを兼ねてスカイパークに行き「飛行場のある街」を肌で感じて貰いました。

目の前の飛行機は大～きい！
年間 25 万円の補助金は、ボーイスカウトのおきてである「スカウトは質素である」からすると高額な金額です。それを生かして伊丹に住んでいる子ども達に「ふるさと意識」を感じて貰えることは大変意義のある活動でした。感謝です！！



